

注文票

FAX 048-432-7335		
氏名:	住所:	電話:
〒		
B5版 160頁		
予価: 本体 1900円+税		
2004年7月12日発売		
<p>注文数</p> <p>日本橋報社刊行日中関係の本</p> <ul style="list-style-type: none"> 『中国人特派員が書いた日本』 『永遠の隣人--人民日報に見る日本人』 『日中相互理解とメディアの役割』 『日中ホンを大討論!』 『中国人の見た日本』 『中国人の日本語者書総覧』 『日本華僑社会の変遷』 『華僑社会の変貌とその将来』 『中国人の日本奮闘記』 『中国の1万2967人に聞きました。』 『私が出会った日本兵』 『つくる会の歴史教科書を斬る』 『新中国に貢献した日本人たち』 <p>ほか多数</p>		

中国経済新論

—中国語力を磨くための対訳版—

関志雄 著 日本橋報社 発行 | ISBN 4-931490-85-9



著者略歴

関志雄 (かんしゆう) 野村資本市場研究所 主任研究員
 1957年香港生まれ。香港中文大學卒、1986年東京大学大学院博士課程修了、経済学博士。香港上海銀行、野村総合研究所、経済産業研究所を経て、2004年4月より現職。著書に『円圏の経済学』(1996年度アジア・太平洋賞)、『円と元から見るアジア通貨危機』、『最新中国経済入門』、『日本人のための中国経済再入門』。翻訳書として『中国 未完の経済改革』(樊綱著、関志雄訳)などがある。
 「中国経済新論」というホームページを主宰し、日本の読者向けに発信している。

- 【目次より】
- ユニクロ人気の裏
 - 中国がもし一〇〇人の村だったら
 - メイド・イン・チャイナの本当の実力
 - 中国発「ブレ論」を巡る誤解を正す
 - 進む国有企業の民営化
 - “优衣库”人気の背后
 - “假如中国是一个百人小村
 - “中国制造”的客观评价
 - 纠正对于中国输出通缩论的误解
 - 国有企业民営化大步向前

【内容紹介】
 中国のWTO加盟を経て、日中間の経済交流がますます盛んとなり、中国語を学ぶ学生、社会人の数は増えている。また、中国市場を指し多くの企業が中国へと進出を続けており、ビジネスの場面において中国語を中国語で語る機会も増えているだろう。
 中国経済を知りたければ中国の新聞記事を読めばいい。しかし、経済関連記事には専門用語が含まれ、それらの用語は普通の辞書には載っていないものも多く、学習意欲があってもままならないという問題が発生しやすい。その上、英語とは違い中国語の場合経済トピックを扱った学習用テキストの数は決して多くなく、中・上級を目指す学習者にとっては悩みの種である。
 著者の主宰する「中国経済新論」というサイト内に掲載してきた「実事求是」という中国経済に関するコラムは、日本語版と中国語版が同時に掲載される。もし、この文章を学習用という点に主眼を置いて整理をすれば、こうした悩める中級・上級学習者の役に立つのではないかと、本書の出版に踏み切った。
 掲載文章は、現代中国経済を理解するために役立つ、しかも日本人が関心を持っているようなテーマに絞り込んだ。中国の経済、社会、日中関係について幅広く取り上げているので、読み物としても楽しんでもらえるのではないだろうか。

「中国経済新論」: <http://www.rieti.go.jp/users/china-tr/jp/index.htm>